

○ ETC2.0プローブデータを用いて、速度低下の顕著な区間を特定し、同区間を通行する車両の走行経路を可視化。

■分析に用いたデータ：ETC2.0プローブデータ（2024.9.21-23, 10月）

■分析内容：

	旅行速度に関する分析	走行経路に関する分析
分析方法	旧甲州街道及び周辺道路を対象に、通常時と観光時(SW)の平均12h速度の差分を可視化。	渋滞区間を通過する車両の走行経路や主な方面を可視化。
結果概要	旧甲州街道の一部区間(県道38号:上町～柏尾)で、通常時と比べて観光時の方が、速度低下が顕著であることが確認された。	渋滞区間を通過する車両の大半は、山梨市・塩山方面から勝沼ICを經由

<旅行速度差（観光シーズン時：R6シルバーウィーク - 通常時）>



出典：ETC2.0プローブデータ(通常時:2024年10月平日)
(観光時:2024年9月21日～23日)

<渋滞区間を通過する交通の経路特性（観光シーズン時）>



出典：ETC2.0プローブデータ(観光時:2024年9月21日～23日)

■今後の活用：分析結果をTDM施策(経路変更等)の検討に活用予定

○ ETC2.0プローブデータを用いて、観光地での車両走行経路や急挙動発生箇所を可視化。

■分析に用いたデータ：ETC2.0プローブデータ（2024.4.26-5.6）

■分析内容：

- 観光ピーク時や土日祝の慢性的な交通渋滞、幅員が狭い市道への車両集中、駐車場待ちの「さまよい交通」などが課題である観光地(金鱗池周辺)の車両走行経路や急挙動などを抽出・可視化し、ボトルネック箇所や危険個所を整理

金鱗湖周辺に滞在した車両の経路



急挙動発生箇所(急ブレーキ発生状況)



出典:由布市資料

■今後の活用：分析結果を基に対策を検討し、具体的な取組みを実施する予定